

目指す姿

子育て支援センターを中心とした地域の子育て支援団体とのネットワークが形成され、一人で悩むことなく、安心して子育てをすることができる環境が整っています。

「生きる力」を育むことを目的とした非認知能力を向上させる取り組みを独自に展開したことで、自ら学ぶ姿勢を示す児童が増えるなど、基礎学力も高まっています。

こうした子育て支援のネットワークによる安心できる子育て環境や非認知能力を向上させる取り組みが特徴である「綾瀬モデルの子育て」が確立し、親子が触れ合いにあふれ、子どもたちが元気でのびのび育つまちになっています。

取り組みの方向

地域の子育てネットワーク形成

地域で子育て支援をしていく体制づくりを進めていき、
子育てへの不安を軽減します。

- 主な取り組み
- 親子や地域の交流の場づくり
 - 地域の子育て支援団体の育成支援
 - 食育や遊びを通じた交流機会の創出

非認知能力の向上支援

非認知能力の向上のための取り組みを進め、自ら学ぶ姿勢を育むなど、
「生きる力」を身に付けられる子育て環境づくりを進めます。

- 主な取り組み
- コミュニケーション力養成講座
 - 読み聞かせ講座
 - 非認知能力を育むための保育士研修
 - 家庭で実践できる非認知能力向上の仕組みづくり

期待される主な効果

- 子育てを孤立させないための身近な相談環境の充実
- 子どもたちがのびのび育つ環境の進展

現状・課題

生活環境の多様化を背景に、虐待などの問題にもつながる子育ての孤立や負担感の増大が発生しており、子育て支援センターを中心とした支援体制の強化が必要です。

子育てサークルとの連携事業をきっかけに、徐々に子育て支援団体との顔の見える関係づくりが進んでおり、こうした地域のネットワークや支援の輪をさらに広げることで、子育て環境を向上させていくことが求められています。

非認知能力の向上に着目し、講座などの事業を積極的に展開し好評を得ていますが、多くの親子への理解促進や長期的・継続的に実践をしてもらう仕組みづくりが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

ネットワークの
地盤形成

地域の子育て支援団体と行政との連携による事業や親子と地域の交流の場づくり等、子育てネットワークの地盤となる関係づくりを進めます。

STEP

2

ネットワークの
形成・活動支援

市民や子育て支援団体による子育てネットワークの形成を支援するとともに、自主的な活動に対しての支援をします。

STEP

3

ネットワークの拡大

地域や事業者等との多様な協力関係づくりへの支援により、子育てネットワークのつながりと取り組みの拡大を図ります。

STEP

1

取り組みの普及

行政を主体とした非認知能力向上のための講座の開催や保護者への理解促進により、非認知能力の普及啓発を図ります。

STEP

2

家庭での
取り組みの普及

各家庭で取り組める非認知能力の向上に向けた取り組みへの支援を進め、自発的・継続的に取り組みが行われる仕組みづくりを進めます。

STEP

3

取り組みの拡大

地域や市民団体、企業等と連携した、より発展的な非認知能力の向上の取り組みが行われる仕組みや環境づくりを進めます。

- 子どもたちの学ぶ力や豊かな心の醸成
- 子育て世帯から選ばれるまちの確立

6

育てる 2

外国人市民が活躍する多文化共生の
まちづくりプロジェクト

目指す姿

外国人市民が地域に溶け込み、相互理解が進む中で、地域の一員として共に安心して生活し、活躍できる環境が整っています。

「言葉の壁」の解消が進むとともに、日本語や日本の文化・社会を学んだ外国人市民が増え、地域や住民とのコミュニケーションが円滑に取れるようになったことで、自主的・自立的な多文化共生活動が展開されています。

自ら創業をする外国人市民が増えています。外国人市民などが経営するさまざまな国の料理店なども増え、市民間の交流や、他市からも人が集まるにぎわいの場となっています。

取り組みの方向

外国人市民への行政サービスの充実

各分野において、外国人市民に配慮した情報発信や
窓口対応の取り組みを進めます。

主な取り組み

- やさしい日本語の理解と活用に向けた職員研修等
- 行政通訳の拡充
- 多言語 ICT ツールの活用推進
- 防災、医療情報の多言語化

多文化共生の促進

生活に最低限必要な日本語、日本社会に関する学習支援や共生に向けた
理解・交流の促進により、多文化共生を推進します。

主な取り組み

- 日本語等の学習支援の充実
- 多文化共生推進員の設置
- 日本人市民と職員への共生意識の啓発
- 多文化共生促進のための交流拠点づくりと支援機関の設置検討

外国人市民等の活躍の支援

創業や地域の担い手として活躍するための
場づくりや支援をします。

主な取り組み

- 外国人市民等を対象とした創業・経営支援及び、さまざまな国の料理店の創出促進
- 外国人市民等の地域活躍に向けた育成支援
- 国際色豊かなイベントの開催支援

期待される主な効果

- 外国人市民を含む住民の相互理解の進展
- 共生の進展による地域力の向上

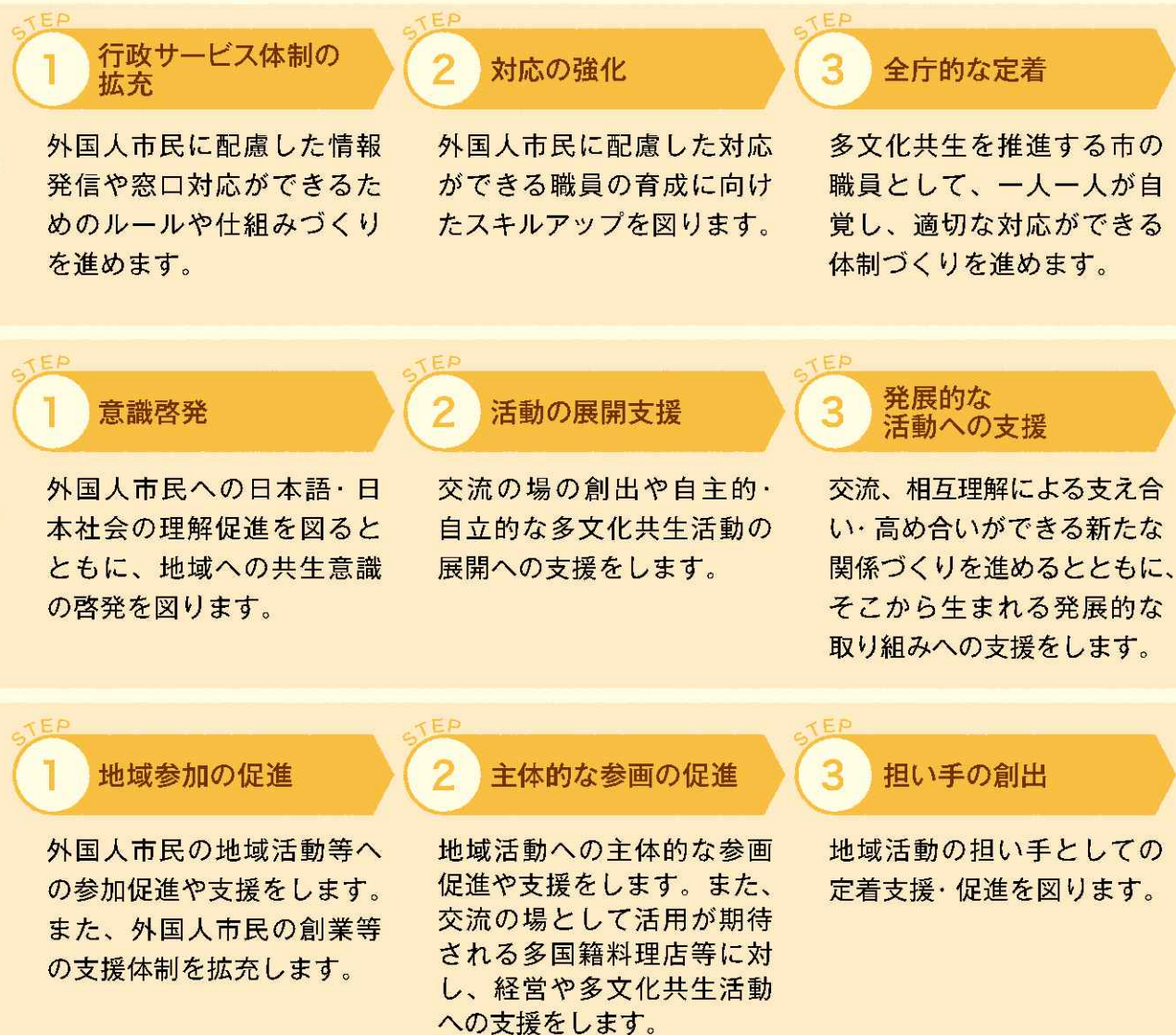
現状・課題

県内市部で第1位である外国人市民比率の高さを生かし、外国人市民を含む住民の相互理解の進展とともに、地域の担い手として活躍する多文化共生の取り組みが求められています。

外国人市民の増加に対し“やさしい日本語”の活用を柱とした「言葉の壁」の解消や外国人市民に配慮した情報発信、窓口対応の向上など、行政サービスの充実が必要です。

ボランティアなどの日本人支援者と行政の連携により、日本語学習の充実や交流の創出が進められていますが、共生に向けた相互理解の機会は少なく、気軽に利用できる交流の場づくりなどが求められています。

取り組みの展開



● 外国人市民が住みやすく活躍しやすい環境の形成

6

育てる 3

未来を支える地域コミュニティの
仕組みづくりプロジェクト

目指す姿

多くの市民が自らに合った形で多種多様な活動に参加できる環境が整いつつあります。
誰もが市民活動に参加しやすい環境の中で、「できる時にできる人がつながる」自主的で多様な活動が行われ、地域コミュニティが活発化しています。
NPO法人などがコーディネート役として活躍し、地域が抱える課題や地域・行政の担い手不足の解消が進んでいます。
自治会活動が活発になり、各地域の歴史や伝統などの継承、地域のニーズに合った自主的な活動にも積極的に取り組まれ、地域の活性化につながっています。

取り組みの方向

自治（会）機能の強化・充実

自治会が活動しやすい仕組みづくりや支援とともに、新たな担い手の育成・参加の促進により、活性化と持続性の向上に取り組めます。

- 主な取り組み
- 担い手の育成・発掘支援
 - 地域理解の促進・啓発
 - 新たな情報共有手段等の検討
 - 負担軽減の推進

市民活動団体等の一層の活性化

行政とともに地域課題の解決に取り組む市民活動団体の立ち上げへの支援や、活動の持続性を高められる仕組みづくりを進めます。

- 主な取り組み
- 共創の場による活動の立ち上げ、継続への支援
 - 企業等との協力関係づくりの支援
 - 市民活動センターを拠点とした新たなネットワーク・交流促進の仕組みづくり
 - 民間空きスペース等とのマッチングによる活動の場づくりへの支援

多様な市民活動の仕組みづくり

多様な形で実施・参加ができる市民活動の仕組みづくりと、取り組みの促進に向けた行政の体制づくり・意識改革を進めます。

- 主な取り組み
- 多様な市民活動のコーディネート機能・仕組みの確立
 - 市民活動センターを拠点とした新たな市民活動と参加の仕組みづくり
 - アクティブ・シニア応援窓口、コミュニティ活動のコーディネーター等との連携体制づくり

期待される主な効果

- 市民活動などへの参加がしやすい環境の形成
- 自治会活動の負担軽減と組織や機能の強化促進

現状・課題

少子高齢化等の市内共通の課題のもと、自治会加入率の低下、役員のなり手不足のほか、地域ごとの問題が顕在化してきており、地域や自治体の持続性を高めるため、自治会の機能強化とともに、住民主体の自立型地域社会を再構築し、社会関係資本を高めていくことが必要です。

市民活動センターあやせを拠点に、団体の活動を支援してきましたが、課題に対応できる地域づくりに向けて、新たな団体の立ち上げや活動への支援強化が必要です。

市民活動に対して、誰もが気軽に参加できる環境づくりに向け、負担感が少なく、多様な形で参加できる新たなコミュニティの在り方を検討していくことが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

負担の軽減

自治会の負担軽減につながる仕組みづくりや取り組みにより、無理なく活動ができる環境づくりを進めます。

STEP

2

仕組みの見直し

持続性ある活動に向けて、より実情に即し、効率的な自治会運営ができるための体制づくり、仕組みの転換への支援をします。

STEP

3

自治会への新たな支援

地域おこし等の地域の活性化につながる発展的な活動ができる環境づくり、実施への支援をします。

STEP

1

活動・立ち上げ支援

地域課題の解決に取り組む市民活動団体の立ち上げや活動への支援の充実を図ります。

STEP

2

共創の場づくり

共創の場による新たなパートナーシップ形成や、自主的な活動への支援の仕組みづくりを進めます。

STEP

3

新たな共創への支援

共創の場から生まれた新たな組織や活動に対しての支援を充実させ、自主的な活動の活性化を図ります。

STEP

1

仕組みの構築

多様な形で市民活動を実施・参加できる新たな仕組みづくりによる、市民活動の活性化を図ります。

STEP

2

連携の拡大

アクティブ・シニア応援窓口、コミュニティ活動のコーディネーター等との連携による取り組みの拡大を図ります。

STEP

3

取り組みの普及拡大

新たな層への取り組みの普及を進め、誰もが自らに合った形で多種多様な活動に参加できる環境づくりを進めます。

- 地域コミュニティの中で多様な活動が生まれるなど、活動しやすい環境の形成
- 市民や団体・企業・行政の連携、協力により地域課題が解決できる体制の構築

6

育てる 4 特色ある公園活用プロジェクト

目指す姿

光綾公園では、バラを目当てに市の内外から多くの人々が観光に訪れるようになり、蟹ヶ谷公園や城山公園でも、花や歴史・文化といった特色を生かした整備や他の観光資源などと合わせた活用が進み、市民の自慢の公園となっています。

地域の身近な公園では、市民とともに公園づくりが行われ、憩いや交流、レクリエーションの場など、地域のニーズに沿った活用がされています。

地域に愛される公園は、住民参加による維持管理活動が行われ、より使いやすく、人々にぎわう魅力ある公園として育まれています。

取り組みの方向

人を引き寄せる魅力ある公園づくり

光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園を、人を引き寄せる魅力ある公園にするとともに、地域振興、観光、魅力発信の場として活用していきます。

- 主な取り組み
- 光綾公園（バラ）、蟹ヶ谷公園（桜）、城山公園（歴史・地形）の特色を生かした魅力ある公園づくり
 - 地域振興、観光、魅力発信の場として活用される体制の構築
 - 公園内カフェ、キッチンカー等の誘致
 - マルシェ、パフォーマンス等のイベントの開催促進

それぞれの特長を生かした公園づくり

市民と共に、それぞれの特長や地域のニーズ等を検討した公園づくりを進め、コミュニティ形成や交流の場づくりにつなげていきます。

- 主な取り組み
- 市民が参加するワークショップ等を通じた公園づくり
 - コミュニティづくりや交流の場づくりの支援
 - 地域・市民等が公園の維持・活用に参加できる仕組みづくり
 - 公園内カフェ、キッチンカー等の誘致

期待される主な効果

- 特色、特長を生かした整備による公園の魅力向上
- 多くの人々が訪れることによるにぎわいの創出

現状・課題

観光地ではない本市においては、既存資源である公園の魅力を高め、有効活用を進めていく必要があります。

光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園の特色を生かした公園づくりのほか、目久尻川歴史文化ゾーンなどと連携した活用の検討を進める中で、ソフト・ハードの両面から、より多くの人を引き寄せるための魅力や利便性の向上が求められています。

地域の身近な公園は、標準的で特徴の薄い公園が多いため、地域住民と意見を交わしながらニーズを反映させ、コミュニティ形成の場にもつながるような公園づくりが必要です。

取り組みの展開

STEP

1

光綾公園の整備・蟹ヶ谷公園の活用

光綾公園における人を引き寄せる魅力ある公園づくりに向けた整備と、蟹ヶ谷公園における特長を生かした活用を進めます。

STEP

2

光綾公園・城山公園の活用

光綾公園における特長を生かした活用と、城山公園における人を引き寄せる魅力ある公園づくりを進めます。

STEP

3

光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園の活用

光綾公園、蟹ヶ谷公園、城山公園における特長を生かした活用と、人を引き寄せる仕組みづくりによる魅力の向上を図ります。

STEP

1

モデル地区の整備

モデル地区として綾南地域の公園において、地域のニーズと特長を生かした公園づくりを進めます。

STEP

2

他地区への整備の展開

モデル地区以外の公園において、地域のニーズと特長を生かした公園づくりを進めます。

STEP

3

活用の展開

コミュニティの形成に向けた、さまざまな交流機会、イベント等による公園の利活用を進めます。

- 市民活動やコミュニティの形成がしやすい環境の醸成
- 老朽化が進む施設の地域ニーズに応じた効果的な更新

目指す姿

目久尻川流域の歴史文化資源の価値や魅力を住民自らが再認識し、地域への誇りや愛郷心といった「郷土への強い想い」が醸成されています。

あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの形成に向けた基盤整備と、地域住民及び歴史文化ゾーンの支援者などの活躍により、歴史・文化資源等の維持・継承と活用体制が整うことで、目久尻川流域の歴史文化や原風景を楽しみながら憩い、また学ぶことができる空間となり、市内外から多くの人々が訪れる交流空間が形成されています。

取り組みの方向

地域住民が誇ることのできる郷土づくり

地域住民の地域への誇りと愛郷心の醸成及び地域住民や歴史文化ゾーンの支援者等による歴史・文化資源等の維持・継承と活用・発信が行える環境づくりを進めます。

主な取り組み

- 流域の歴史文化資源の掘り起こしと意識創生
- 地域組織・団体の支援
- 歴史文化資源と他の地域資源を結ぶ仕組みづくりと魅力の発信

あやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備・展開

目久尻川流域の史跡・文化財の活用や周辺施設等とのネットワーク化を行い、人を引き寄せる魅力あるスポットとしての整備・展開を進めます。

主な取り組み

- 地域住民等の参加によるあやせ目久尻川歴史文化ゾーンの整備
- 周辺の特徴ある公園の整備・連携と文化財等とのネットワーク化
- サイクリングロードの再整備・活用、回遊性の向上
- 良好な景観、原風景の保全

期待される主な効果

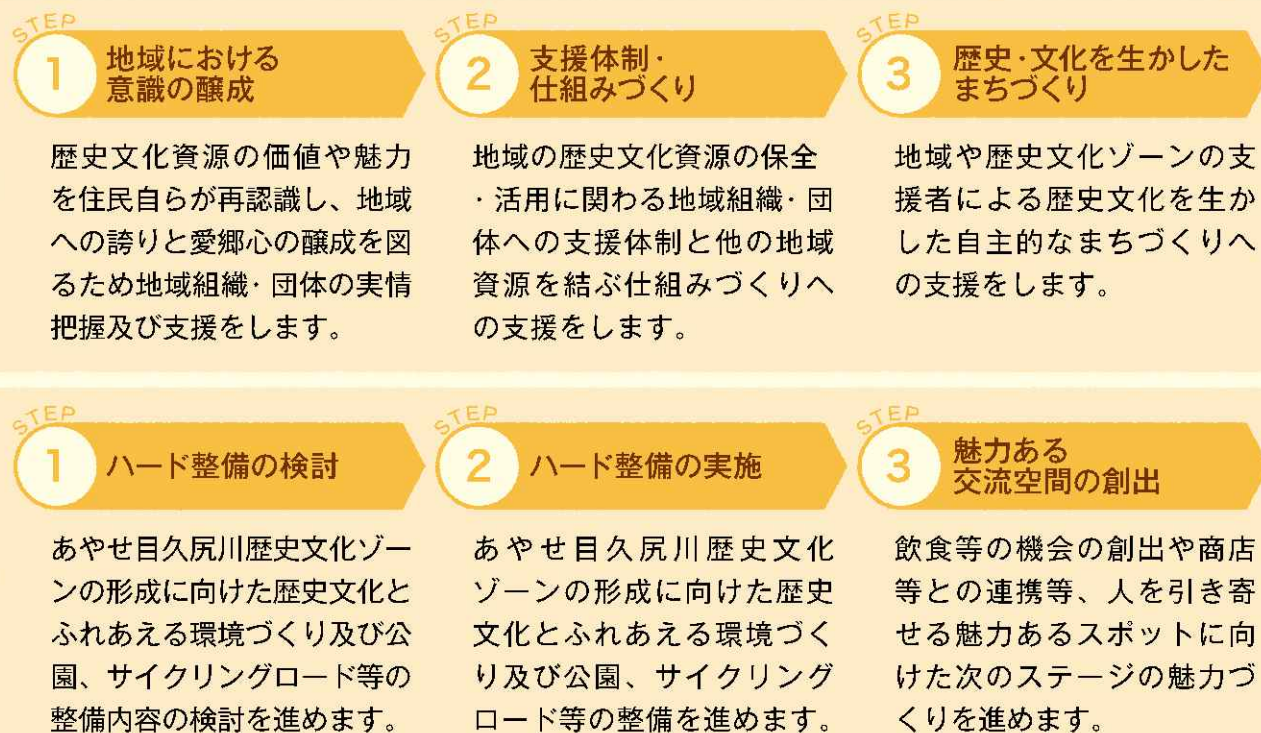
- 地域住民の愛郷心の醸成と文化財などの保存、継承の促進

現状・課題

地域社会の状況の変化、都市化に伴う開発や人々の価値観の多様化などの影響により、流域の文化財や地域の歴史・伝統文化などが、地域活力の低下とともに失われつつあります。

地域住民や歴史文化ゾーンの支援者による歴史や伝統文化などを次世代につなげていく仕組みづくりと併せて、文化財や公園などの点と点を結び付け、回遊できる仕組みづくりも必要です。

取り組みの展開



- 目久尻川流域の歴史、文化財などを通した本市の魅力向上及び交流人口の増加
- 地域住民、市民同士と来訪者との交流の創出と地域活性化の進展